平成 25 年 7 月 31 日

各　　位

会 社 名　　日本郵船株式会社
代表者名　　代表取締役社長　工藤　泰三
コード番号　9101
上場取引所　東証・名証各第一部
問合せ先　　ＩＲグループ長　宮本　教子
（TEL.　03-3284-5986）

第２四半期及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年４月 30 日に公表した平成 26 年３月期第２四半期及び通期連結業績予想を以下のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

平成 26 年３月期第２四半期累計連結業績予想数値の修正（平成 25 年４月１日～平成 25 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A） （平成 25 年４月 30 日発表）	百万円 1,040,000	百万円 17,000	百万円 14,500	百万円 7,000	円　銭 4.13
今回修正予想（B）	1,070,500	19,500	24,000	13,500	7.96
増減額（B－A）	30,500	2,500	9,500	6,500	
増減率（%）	2.9	14.7	65.5	92.9	
（ご参考）前期第２四半期実績 （平成25年３月期第２四半期）	944,036	17,879	13,083	△4,149	△2.45

平成 26 年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年４月１日～平成 26 年３月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （平成 25 年４月 30 日発表）	百万円 2,090,000	百万円 45,500	百万円 40,000	百万円 27,000	円　銭 15.92
今回修正予想（B）	2,138,500	46,500	50,000	30,000	17.69
増減額（B－A）	48,500	1,000	10,000	3,000	
増減率（%）	2.3	2.2	25.0	11.1	
（ご参考）前期実績 （平成 25 年３月期）	1,897,101	17,434	17,736	18,896	11.14

※　修正の理由：
為替レートと燃料油価格の前提を、前回に比べ円安・燃料油価格安に設定したことにより、全体的に収支押し上げ効果が期待できることに加え、定期船事業ではコンテナ船運賃が前回予想を下回る水準で推移すると見込むものの、不定期専用船事業においては、減速航海の徹底による燃料消費量の削減や安定収益の着実な積み増し等により大幅な収支向上が予想されるため、業績予想を上記のとおり上方修正いたしました。

※　業績予想の前提

		為替レート	燃料油価格
前回	第２四半期連結累計期間・通期	90 円/米ドル	650 米ドル/MT
今回	第２四半期連結累計期間	97.86 円/米ドル	631.73 米ドル/MT
	通期	96.43 円/米ドル	635.87 米ドル/MT

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以　上